

# 音楽 第1学年

## 1 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

(1)	(2)	(3)
曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながら、よさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

## 2 評価の観点とその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について <u>理解</u> している。 (表現・鑑賞)  創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な <u>技能を身に付け</u> 、歌唱、器楽、創作で表している。 (表現)	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を <u>知覚</u> し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ <u>し</u> ながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 (表現・鑑賞)	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 (表現・鑑賞)

## 3 評価の観点と評価方法

評価方法	1～3学期			
	授業観察	プリント	実技テスト	定期考査
知識・技能	○	◎ (知識)	◎ (技能)	○ (知識)
思考・判断・表現		◎	◎	○
主体的に学習に取り組む態度	◎	○	○	○

## 4 点数配分

	知識	技能	思考・判断・表現	主体的に
授業観察				50
プリント (表現・鑑賞)	80 (鑑賞)		40 (表現) 40 (鑑賞)	100 (表・鑑)
実技テスト (表現・鑑賞)		80 (表現)	40 (表現) 40 (鑑賞)	30
定期考査	40		40	20
総合得点 600点	200点		200点	200点

# 音楽 年間指導計画（第1学年）

月	題材（教材名）	指導内容	評価方法と評価の観点
4	オリエンテーション パートの役割や旋律の重なり方の特徴を感じ取る	他者の声質の特徴に気付き、また自分の声質に合った声部を選ぶ。	<p>●知識・技能 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について<u>理解</u>している。<u>知識/理解</u>（A表現・B鑑賞）</p> <p>創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な<u>技能</u>を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。（A表現）</p> <p>◇授業観察/ワークシート/ 実技テスト/定期考査</p> <p>●思考・判断・表現 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を<u>知覚</u>し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。<u>感じる/考える/わかる</u>（表現・鑑賞）</p> <p>◇ワークシート/実技テスト/定期考査</p> <p>●主体的に取り組む態度（表現・鑑賞） ◇授業観察/ワークシート/ 実技テスト/定期考査</p>
5	校歌 夏の日の贈り物（表現ア/イ） 旋律のまとまりと構成 主人は冷たい土の中に 夢の世界を（表現ア/イ/ウ）	リズムや旋律、拍子などの音楽を形づくっている要素を知覚する。	
6	詩の内容と曲想の変化との関わりを感じ取る 魔王（鑑賞ア/イ/ウ）	鑑賞曲のもつ雰囲気や特徴を感受する。	
7	混声合唱へのステップ カリブ夢の旅 夜汽車 （表現・鑑賞ア/イ/ウ）	声部の重なり方の特徴、ハーモニーを感じて表現する。	
9	詩や曲の雰囲気合った声で言葉を大切に歌う 合唱祭自由曲 （表現ア/イ/ウ）	曲想の変化に気付き、詩の内容との関連について考え、表現を工夫する。	
10	曲のまとまりやハーモニーの変化を感じ取って合唱する 合唱祭自由曲（表現・鑑賞ア/イ/ウ）	テクスチャ（音の重なり等）や曲の構成をつかみ、表現を工夫する。	
11	詩と音楽との関わり 春（鑑賞ア/イ/ウ）	歌詞と音楽を形づくっている要素と関わりを感じ取って、歌唱表現を工夫する。	
12	日本の音階を使った旋律づくり 赤とんぼ 浜辺の歌 ふるさと （鑑賞 ウ 表現ア/イ/ウ）	民謡音階を使って前半のつながりを考えた旋律をつくる。	
1	オーケストラの楽器 曲の構成に気を付けながら曲想の変化を感じ取る ボレロ 映画音楽（鑑賞ア/イ/ウ）	オーケストラに使用されている楽器の音色や奏法について知る。	
2	日本の伝統音楽に親しむ（箏と尺八など） 和楽器の基本的な奏法 六段の調べ（表現ア/イ/ウ）	音楽の特徴に気付き、感想にまとめ、発表する。 和楽器の基礎的な奏法を学び、音楽の要素を感じ取る。 音楽を形づくっている要素の知覚を通して、日本の伝統音楽の多様性を感じる。	
3	ハーモニーを感じ取った表現の工夫 合唱曲 （表現・鑑賞ア/イ/ウ）	テクスチャ（音の重なり等）をつかみ、表現を工夫する。	
年間 指導時間数（合計）			

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、授業内容を変更することがあります。